

◆ 論点 1 「取組の方向性」について

ご意見をいただきたい事項

- 「交通に求められること」から「取組の方向性」への導き方で違和感はないか
- 3つの「取組の方向性」と「めざすべき姿」に過不足はないか
- 関係者から共感を得られるような表現方法はないか
- パースで描く姿は、概ね30年後として適切か

◆ 論点 2 「めざすべき姿の実現に向けて」について

ご意見をいただきたい事項

- 技術の進展等の予測が難しい中、最新の技術を活用していくために必要なことは何か
- デジタル化や新たな取組への民間投資を導くために必要なことは何か
- 多様な関係者の共感を得られるために必要なことは何か

◆論点2 「めざすべき姿の実現に向けて」について

新たな技術・デジタル技術の活用

(いただいたご意見)

- 特に、防災や環境の分野で、DXの取組は行政がもっと関わり、情報を民間が占有する状況は避けるべき
- 物流の効率化などの取組は、小規模な現場が取り残されることを危惧する
- 物流のデジタル化は、データ化すら進んでいない
- 新技術や新たなモビリティの実装には投資が必要。特に、郊外部や山間部での投資の呼び込みが肝
- デジタル技術や自動運転は、セキュリティの問題や責任の所在等、制度面が課題
- 新たな取組に対する制度変更や特区による規制緩和等の行政の後押しが欲しい

多様なプレイヤーの連携

(いただいたご意見)

- 事業者の共感に結び付けることが大切
- 人口減少・少子高齢化や生活様式の変化を踏まえ、公共の担う役割は大きくなるのでは
- 市町村の担当者不足に対応するため、自治体間の連携も大切

民間活力の活用

(いただいたご意見)

- 都市経営の観点で、取組を実現するスキームも検討すべき
- まちづくりの視点からも、民間投資の呼び込み方も含めて検討して欲しい
- 新技術や新たなモビリティの実装には投資が必要。特に、郊外部や山間部での投資の呼び込みが肝(再掲)
- 事業者が「取り組みたい」「面白い」と思えることを描くことで、施策的な誘導ができるのでは